



要求実現へ政府交渉



山下よしき参院議員(前列中央)と政府に実現を迫る滋賀県地方議員団(22日=参議院議員会館)

日本共産党滋賀県地方議員団は22日、政府各省庁で、TPPやめよ、環境こだわり農業、35人学級、偽装請負企業に対する指導、医師不足対策・国保問題など、切実な願い実現へ交渉しました。

政府への主要望事項

■農水省

米価暴落対策、TPPへの参加反対、環境こだわり農業支援の継続、鳥獣害対策の強化、森林林業再生プランにもとづく集約化施策に欠かせない境界確定支援策、びわ湖と内湖の異常な水草対策。

■文科省

35人学級実施について、外国語指導助手制度について、中学校給食について。

■厚労省

偽装請負企業に対する指導、雇用促進住宅の存続、子ども子育て新システム、成人T細胞白血病のウィルス感染防止、医師不足対策、国保問題。

■経産省

公共施設における高圧受電のデマンド料金制度の軽減対策。

■環境省

RD最終処分場の有害物除去対策、びわ湖と内湖の水草繁茂対策。

■国交省

びわ湖と内湖の異常水草繁茂対策、改良住宅譲渡、芹谷ダム中止に伴う生活再建と補償。

■防衛省

安曇川や住宅地上空でのヘリコプターによるホバリング訓練中止、市街地での徒歩訓練中止、日米合同演習の中止、あいば野演習場内河川の土砂や濁水の流出防止対策。

環境こだわり農業の継続を求める

野洲市でも「環境こだわり農業」を実施しています。ところが農水省は新年度から新たな制度を実施しようとしています。ところが、そのまま実施されると、現在実施の滋賀の環境こだわり農業の対象が非常に狭められます。交渉では、引き続き環境こだわり農業に対する支援を講じるべきと求めました。

これに対して農水省は、「23年度は経過措置として現行対策を継続する。24年度以降はこの間の成果も総括しながら検討する」と答弁しました。

雇用実態も深刻です。県内でも大企業の日本電機硝子が滋賀労働局から「偽装請負」の違法を3回も指摘されながら無視し続けています。議員団は、「何回、違法を繰り返されれば警告・公表するのか」と厚労省に強い指導を求めました。

厚労省が血液がんの成人T細胞白血病(ALT)ウィルス感染防止に妊婦検診助成を今年10月からに続き来年度も実施することにしましたが、議員団は事業の性格から、「単年度事業でなく恒久的な事業」として行うよう求めました。

国民健康保険制度では、「互助制度」と言いながら国民負担を強化していますが、法律に基づく社会保障制度として運営し、国保への国負担の増額を強く求めました。

明日(29日)から定例市議会が開催されます

29日から12月17日まで定例市議会が開催されます。どなたも傍聴できます。ぜひお越しください。

■本会議...29日、12月6～8日、17日

午前9時から(17日のみ午後1時)

■委員会...12月10日、13～14日

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2010年11月29日 №209

暮らしのご相談・要望
お寄せください

小菅六雄
野並享子
太田健一

(電話・FAX) 589-4971 (メール) shgdy177@ybb.ne.jp
(電話・FAX) 587-0985 (メール) no73kyo_ko@ybb.ne.jp
(電話・FAX) 588-3169 (メール) kensan.wor1d21@docomo.ne.jp

市議会ホームページをご覧ください
<http://www.yasusigi.net/>